

みなと

No. 7

理 念

・地域に貢献する病院

基本方針

・地域に根ざしたトータル医療の提供
・生活習慣病や高齢化社会に対応した医療の提供
・予防医療の推進
・プライマリケアの実現
・ゆとりある空間の提供
・朗らかで明るい職場づくり



コムラサキ:撮影 霜鳥 孝 院長



在宅の生活を支援しています

社会医療事業部長 中川 恵子

今年の7月は雨が多く、3年前の水害を思わせる被害が全国で見られ不安な思いをしました。8月になり今度は暑い日が多く、在宅で生活をしている患者様の脱水や家の中にながらの熱中症を心配しました。これから秋から冬にかけて、インフルエンザや肺炎が心配されます。早めの対応としてインフルエンザの予防接種が有効かと思えます。

私どもの部署は分かりづらいですが1階の一番奥にあり、医療相談・訪問看護・居宅介護支援・地域支援の仕事を主にしています。新潟臨港病院が在宅で療養されている方を支援し始めたのが、平成5年、訪問看護からです。今までに訪問看護をしました患者様は650人を超えました。続いて平成6年に在宅介護支援センター、平成12年に居宅介護支援事業所を開設し、地域の皆様方に貢献してまいりました。残念ながら平成18年3月末をもちまして、新潟市の方針で在宅介護支援センターの事業が終了しましたが、地域で介護をされている方々へ「家族介護教室」を年に1〜2回開催いたします。今回は、日頃介護されている方々の健康管理とリフレッシュを目的として11月8日に岩室温泉へ行きます。詳細は在宅介護支援センター臨港病院にご相談下さい。

医療費、公費申請・介護保険についての相談や介護認定・在宅での看護や介護についてご相談を受けております。入院や外来の分けなくお困りの事がありましたらご相談下さい。

桃山校区 防災訓練に参加



9月24日(日)、秋晴れのもと、桃山校区防災訓練が行われました。

新潟市危機管理防災対策課、東消防署及び同山の下出張所、地域住民など約700名と、当院も救護班として参加しました。



新潟まつり

新潟まつり

新潟まつり



新潟まつり 民謡流し

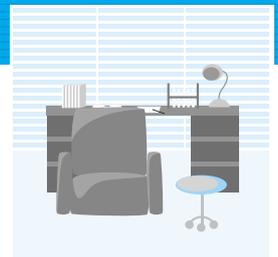
8月8日(火)、毎年恒例の新潟祭り大民謡流しに、踊り好きな美男美女(?) 36名が参加しました。外の蒸し暑さに負けないほどの熱気で、皆汗だくで踊りました。

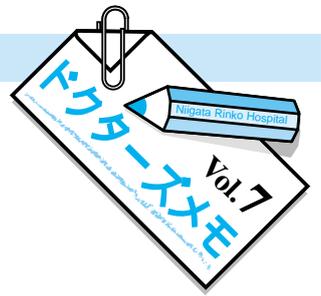


INFORMATION

婦人科「午後外来」開始

婦人科[外来]は、月～土曜の午前に診療を行っていましたが、10月より午後の診療も併せて開始しました。
午後外来は、火曜日・水曜日・木曜日のみとなります。





正常眼圧緑内障

眼科医師 水澤 由香

緑内障の半数以上が正常眼圧緑内障

「目の成人病」と言われる緑内障は、視神経が障害されて視野が欠けてくる病気です。以前は眼球内部の圧力（眼圧）が上昇し、視神経が圧迫されて障害を起こす病気と定義されてきました。しかし最近では、眼圧は正常なのに、視神経が圧迫されて障害を起こす正常眼圧緑内障が増し、緑内障の概念も改められてきました。

緑内障の一因となる眼圧は、眼球内を満たし、目に栄養を運んでいる房水という液体によって調整されています。この房水がなんらかの原因によって増えすぎると、眼圧が高くなり、視神経を圧迫して機能障害が出てきます。

眼圧の正常値は、10～21mmHg（ミリ

リメートル水銀柱）です。眼圧が常に21mmHgを超えていれば眼圧が高いとみなし、緑内障を疑う必要が出てきます。正常眼圧緑内障においても、その人にとっての適正眼圧値が通常より高いこと、加えて目の血流循環の不良などがその原因と考えられています。

緑内障は40歳以上の中高年に起こりやすい病気の一つで、40歳以上の緑内障有病率は約6%です。また、日本人には正常眼圧緑内障が多く、緑内障全体の半数以上を占めています。

緑内障には、先天性や、他の病気に伴って起こるものもあります。それ以外の緑内障は原発性緑内障と呼ばれ、急激に発症することの

多い閉塞隅角緑内障と、慢性的に進行していく開放隅角緑内障に大別されます。正常眼圧緑内障は、後者の開放隅角緑内障に属します。

閉塞隅角緑内障は、隅角（房水が眼球外に流出する所）が狭く、眼圧が急激に上昇してくるもので、すぐに治療をしないと失明する危険性があります。しかし、急な頭痛や眼痛、吐き気などの症状を伴うため発見は容易で、早期に手術をすれば病気の回復も望めます。

これに対し、正常眼圧緑内障を含む開放隅角緑内障は、初期には自覚症状が現れにくく、視野の欠損や視力低下に至ってようやく異常に気づくケースが大半です。

決定的な治療法もなく、いったん失われた視野は元に戻らないため、定期的に眼科を受診して早期発見に努め、進行を抑える治療を開始し、継続することが視機能を守るポイントになります。

緑内障の診断は、眼圧検査、視力および視野検査、眼底検査によって行ないます。正常眼圧緑内障の早期発見には、視神経の障害をみる眼底検査が不可欠です。最近では人間ドックや自治体、企業が行なう健康診断などにも眼圧検査、眼底検査が広く取り入れられ、緑内障の早期発見に大きく寄与しています。

正常眼圧緑内障の早期発見には、視神経の障害をみる眼底検査が不可欠です。最近では人間ドックや自治体、企業が行なう健康診断などにも眼圧検査、眼底検査が広く取り入れられ、緑内障の早期発見に大きく寄与しています。

40歳を過ぎたら定期検査で早期発見

緑内障の診断は、眼科専門医で

めします。

視野検査や眼底検査を受ければ簡

単にチェックできます。早期発見

が大切ですので、40歳を過ぎたら

を1回を目安に行つ

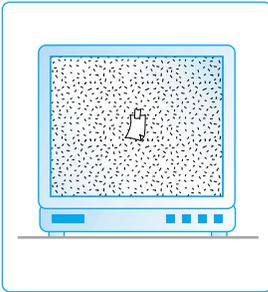
特に異常は無くても1年に1回は

てみて下さい。もし異常があれば、

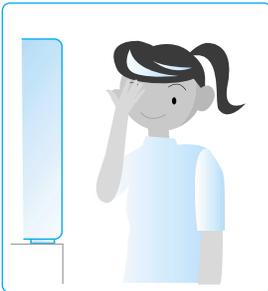
眼科検査を受けられることをお勧

めして下さい。すみやかに眼科を受診するように

テレビノイズ検査法



テレビを放送されていないチャンネルに合わせ、砂嵐のような白黒のノイズ画面を映し、その中央に目印となる小さな紙切れなどをはりつける。



画面が視野全体に広がるまでテレビに近づき、片目ずつ、3秒間目印を見つける。(視線を動かしたり、目印を長く見つめすぎたりしないよう注意)

ノイズ画面が視野全体に均等に広がっていれば視野は正常。視野のなかにちらつきの少ない部分、まったく見えない部分があれば、視野の異常が疑われる。なるべく早く眼科医へ。

ホッとする話



(広報委員がガラス越しに撮影した拙い写真です。ご容赦下さい)

当院の中庭(内科・整形外科受付の斜め向かい)の木に「ひよどり」が営巣し、お盆明け頃から暫くの間、ひな鳥の愛くるしい「はばたき」の練習や、親鳥が虫などの餌をひな鳥に口渡しする場面などを目にする事が出来ました。

いっつき職員・患者様のアイドルだったひな鳥も、8月下旬には中庭を巣立っていきました。



主 任 横木 新一

こんにちは、健診センターです。
臨港病院の奥座敷に位置する、当センターを簡単に説明させていただきます。

健診センターは、受付・待合ラウンジ・計測室・診察室で構成されています。

業務内容は大きく健診（検診）とドックに分けられます。健診は企業健診を中心に、一般の健診及び新潟市の基本健康診査も随時行っています。



待合ラウンジ

す。睡眠時無呼吸性症候群の簡易検査は毎週水曜日のみ予約制で行っています。ドックは日帰り人間ドックを中心に簡易ドック等を行っています。他にはインフルエンザの予防接種も当センターで行っています。くわしい内容は、エントランス及び当センターにパンフレットが置いてありますので、ご一読いただければ幸いです。

構成人員は医師二名（曜日によって交替になります）、検査技師三名、看護師（保健師）一名、事務一名で日々の業務を行っています。検査項目に応じて、外科・婦人科・整形外科の先生方にも来ていただいています。

業務の流れについて、日帰り人間ドックを例にとり簡単に説明しますと、受付 検尿 採血 婦人科検診・直腸肛門診察・乳房診察 身長・体重測定 視力測定 眼圧検査 呼吸機能検査 聴力検査 眼底検査 腹部エコー検査 心電図・動脈硬化検査を行い、胃X線・胸部X線は放射線科へ、胃内視鏡を希望される方は内視鏡センターで検査を行います。最後に医師の問診・診察を行い、その後、保健師による血液検査データに基づいた生活習慣の指導を行って



計測室



採血台

います。この指導は最近導入したものです。ドックを受診された方々に好評を博しています。

近年、予防医学や生活習慣病への関心から、いかに自分の体を健康的に維持するかに関心が集まっています。そのような皆様の健康に対する関心の高まりにこたえられるようスタッフ一同日々の業務を行っています。

簡単ですが、健診センターの説明をさせて頂きました。今後共健診センターを利用していただき、皆様の健康管理にお役立て下さいます様よろしくお願い致します。

臨港病院は看護師を募集しています

看護師募集

- 【給 与】経験年数・能力考慮、当院規定により優遇
- 【待 遇】昇給年1回、賞与年2回、各社会保険完備
交通費、住宅手当
- 【休 日】4週6休、夏期、年末年始
- 【応 募】電話またはメールでご連絡ください。
日勤のみ・パートを希望する方も相談に応じます。

TEL 025-274-5331 担当 看護部長 田中

URL <http://www.rinko-hp.com> E-mail rh-master@rinko-hp.com



